結果報告書

町民アンケート調査・
子育てに関するアンケート調査

【概要版】

令和７年２月

九　度　山　町

１．調査概要

A. 町民アンケート調査

(1) 調査対象および抽出方法

満 18 歳以上 79 歳以下の町民　500 人

住民基本台帳に基づき、男性 250 名、女性 250 名に無作為抽出

（抽出基準日 ： 令和 6 年 11 月 11 日）

(2) 調査方法

郵送による調査票の配付・回収（一部 Web 上での回答）

(3) 調査期間

令和 6 年 11 月 18 日（月）～令和 7 年 1 月 6 日（月）

(4) 回収結果

配付数 ： 500 件

回収数 ： 293 件（うちインターネット回答は 79 件）

回収率 ： 58.6%（ ＝ 回収数　／ 配付数）

B. 子育てに関するアンケート調査

(1) 調査対象および抽出方法

九度山小学校・河根小学校に通う児童の保護者　82 人

＊兄弟・姉妹が同一小学校に通っている場合、その保護者に調査票が複数配付されないよう、小学校と協議し、調査対象者の調整を行った。

(2) 調査方法

各小学校で児童を通じ、保護者に配布。回収についても、児童を通じて、各小学校で回収

(3) 調査期間

令和 6 年 11 月 20 日（水）～令和 6 年 12 月 4 日（水）

(4) 回収結果

配付数 ： 82 件

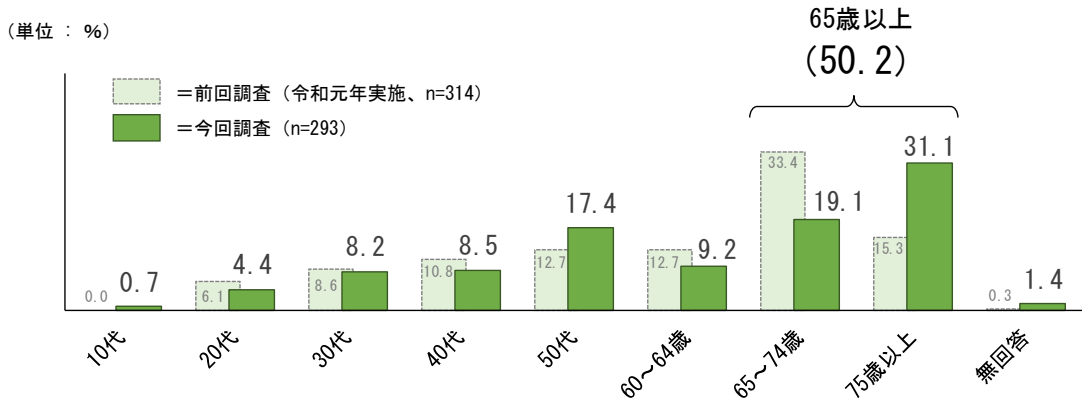
回収数 ： 73 件

回収率 ： 89.0%（ ＝ 回収数　／ 配付数）

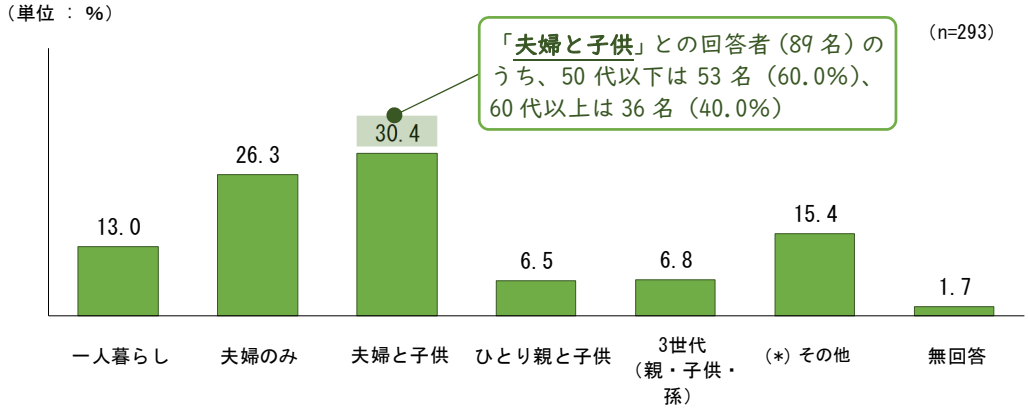
２．回答者の特徴

A. 町民アンケート調査

図表 年齢

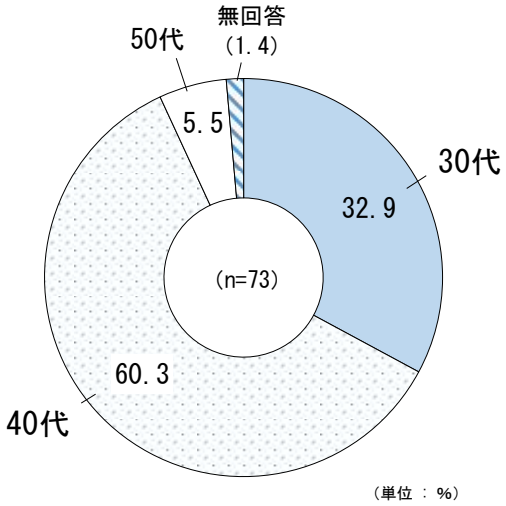


図表　家族構成



B. 子育てに関するアンケート調査

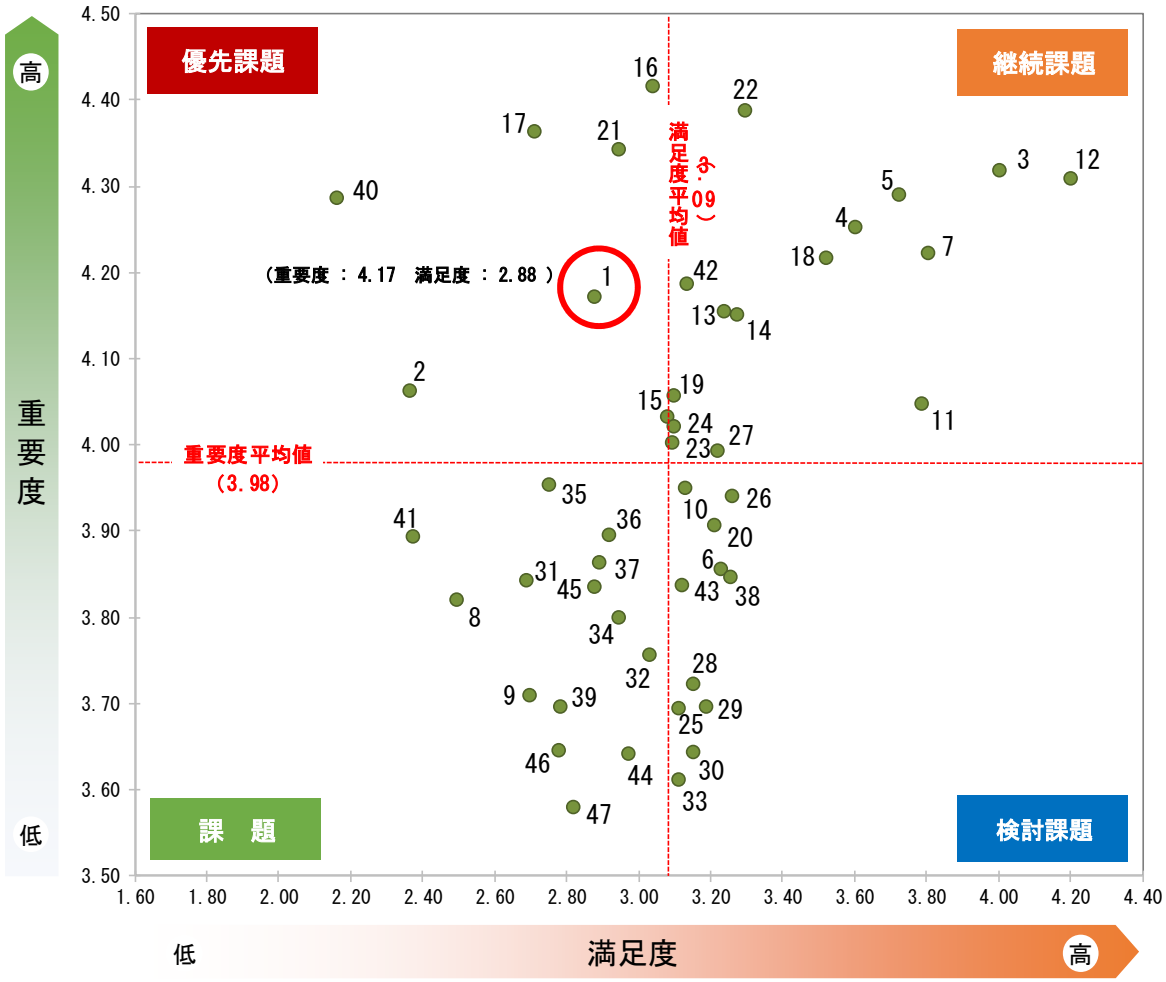
図表 回答者の年齢



３．九度山町での生活に関する町民の「満足度」

＊各項目について５段階で評価（満足５点、やや満足４点、どちらとも言えない３点、やや不満２点、不満１点）

図表　九度山町の生活に関する満足度・重要度のクロス分布



【番号表】

	項目名		項目名		項目名
1	道路の整備	17	休日や夜間等の救急医療	33	人権教育の啓発活動の推進
2	バス・鉄道等の公共交通機関の充実	18	健康づくり（検診等）	34	女性の活躍のしやすさ
3	上水道の整備	19	子育て支援	35	若者の活躍のしやすさ
4	下水道の整備	20	交通安全の取り組み	36	農林水産業の振興
5	し尿やゴミの収集処理	21	防犯対策	37	商工業の振興
6	住居の確保の容易さ（しやすさ）	22	消防・防災対策	38	観光の振興
7	現在の住居の住み心地	23	環境保全対策	39	町内での起業・創業のしやすさ
8	町内の空き家対策	24	地球温暖化対策（省エネ等）	40	日常の買い物の便利さ
9	公園や子どもの遊び場の整備	25	地域活動・ボランティア活動への支援	41	町内の飲食店の魅力
10	まちなみ・まちの景観	26	保育園・幼稚園	42	行政の住民への対応
11	自然景観	27	小中学校教育	43	広報活動
12	自然の豊かさ、空気・水のきれいさ	28	生涯学習の振興	44	行政への住民参加体制
13	福祉施設	29	文化施設の整備や文化活動の振興	45	経費の節減などの行財政改革
14	高齢者福祉サービス	30	スポーツ施設の整備やスポーツ活動の振	46	行政サービスのデジタル化
15	障害者福祉サービス	31	楽しい時間を過ごせる施設の充実度	47	日常生活におけるデジタル化
16	病院・医療施設の充実	32	青少年の健全育成の推進		

（参考）九度山町の優先課題・継続課題

優先課題（重要度 ：高　満足度 ：低 ）

項目	満足度 平均値 【前回】	満足度 平均値 【今回】	前回からの変化
道路の整備	2.85	2.88	+0.03
バス・鉄道等の公共交通機関の充実	2.16	2.37	+0.21
障害者福祉サービス	3.00	3.08	+0.08
病院・医療施設の充実	2.97	3.04	+0.07
休日や夜間等の救急医療	2.71	2.71	±0.00
防犯対策	2.98	2.95	▲0.03
日常の買い物の便利さ	-	2.16	-

継続課題（重要度 ：高　満足度 ：高 ）

項目	満足度 平均値 【前回】	満足度 平均値 【今回】	前回からの変化
上水道の整備	4.00	4.01	+0.01
下水道の整備	3.49	3.61	+0.12
し尿やゴミの収集処理	3.52	3.73	+0.21
現在の住居の住み心地	-	3.81	-
自然景観	-	3.79	-
自然の豊かさ、空気・水のきれいさ	-	4.20	-
福祉施設	3.04	3.24	+0.20
高齢者福祉サービス	3.07	3.28	+0.21
健康づくり（健診等）	3.47	3.52	+0.05
子育て支援	3.13	3.10	▲0.03
消防・防災対策	3.22	3.30	+0.08
環境保全対策	3.03	3.10	+0.07
地球温暖化対策	-	3.10	-
小中学校教育	3.18	3.22	+0.04
行政の住民への対応	3.10	3.14	+0.04

３．九度山町での生活に関する町民の「満足度」

（参考）九度山町の優先課題・継続課題

課題（重要度 ：低　満足度 ：低 ）

項目	満足度 平均値 【前回】	満足度 平均値 【今回】	前回からの変化
町内の空き家対策	-	2.50	-
公園や子どもの遊び場の整備	2.85	2.70	▲0.15
楽しい時間を過ごせる施設の充実度	-	2.69	-
青少年の健全育成の推進	3.27	3.04	▲0.23
女性の活躍のしやすさ	3.04	2.95	▲0.09
若者の活躍のしやすさ	-	2.75	-
農林水産業の振興	3.02	2.92	▲0.10
商工業の振興	2.89	2.88	▲0.01
町内での起業・創業のしやすさ	-	2.79	-
町内の飲食店の魅力	-	2.38	-
行政への住民参加体制	3.13	2.97	▲0.16
経費の節減などの行財政改革	2.86	2.89	+0.03
行政サービスのデジタル化	-	2.78	-
日常生活におけるデジタル化	-	2.82	-

検討課題（重要度 ：低　満足度 ：高 ）

項目	満足度 平均値 【前回】	満足度 平均値 【今回】	前回からの変化
住居の確保の容易さ（しやすさ）	2.92	3.23	+0.31
まちなみ・まちの景観	3.27	3.22	▲0.05
交通安全の取り組み	3.14	3.13	▲0.01
地域活動・ボランティア活動への支援	3.15	3.16	+0.01
保育園・幼稚園	3.23	3.26	+0.03
生涯学習の振興	3.16	3.11	▲0.05
文化施設の整備や文化活動の振興	3.39	3.19	▲0.20
スポーツ施設の整備やスポーツ活動の振興	3.34	3.15	▲0.19
人権教育の啓発活動の推進	3.28	3.12	▲0.16
観光の振興	3.27	3.26	▲0.01
広報活動	3.28	3.12	▲0.16

４．九度山町での生活に関する町民満足度（全国との比較）

偏差値（全国比較）

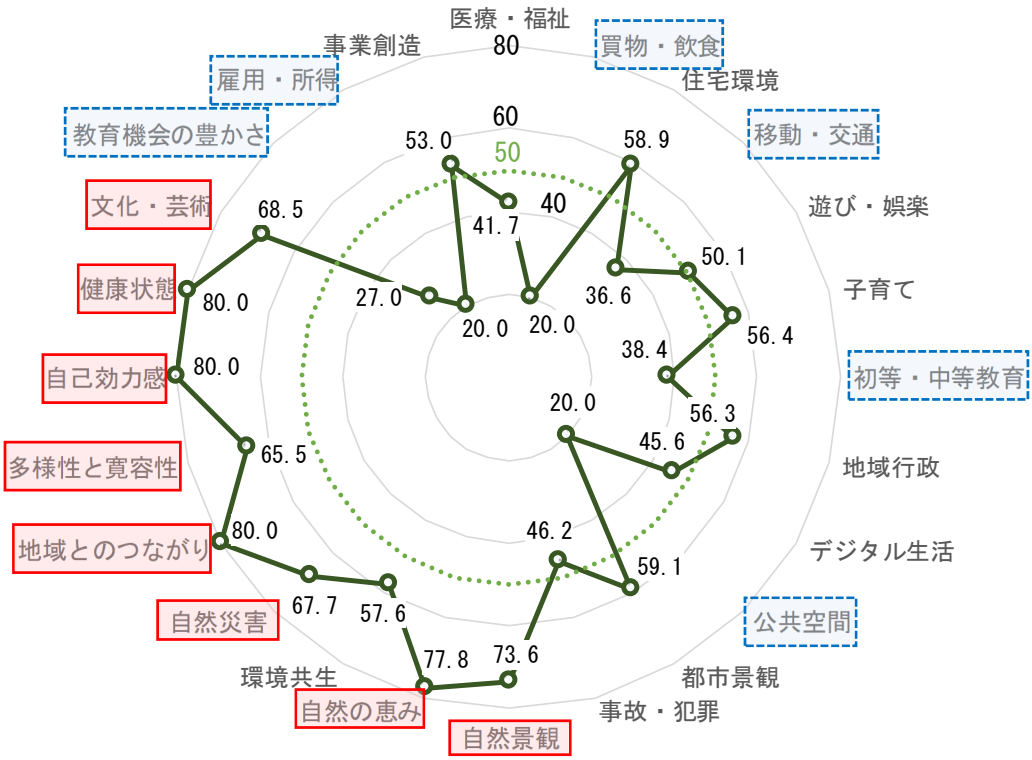
九度山町での生活に関する町民満足度について、項目（24 項目）ごとに全国平均を 50 とした場合の本町の偏差値（スコア）を算出。偏差値が高いほど、満足度が全国に比べて高いことを示す。

（参考）九度山町調査と全国調査における質問項目の対応表

全国調査	本調査（九度山町調査）＊満足度等に関する質問
医療・福祉	問9-1⑬福祉施設、⑯病院・医療施設の充実
買物・飲食	問9-1㊵日常の買い物の便利さ、㊶町内の飲食店の魅力
住宅環境	問9-1⑥住居の確保の容易さ（しやすさ）、⑦現在の住居の住み心地
移動・交通	問9-1②バス・鉄道等の公共交通機関の充実
遊び・娯楽	問9-1㉛楽しい時間を過ごせる施設の充実度
子育て	問9-1⑲子育て支援
初等・中等教育	問9-1㉗小中学校教育
地域行政	問9-1㉚スポーツ施設の整備やスポーツ活動の振興、㊷行政の住民への対応
デジタル生活	問9-1㊻行政サービスのデジタル化、㊼日常生活におけるデジタル化
公共空間	問9-1⑨公園や子どもの遊び場の整備
都市景観	問9-1⑩まちなみ・まちの景観
事故・犯罪	問9-1㉑防犯対策
自然景観	問9-1⑪自然景観
自然の恵み	問9-1⑫自然の豊かさ、空気・水のきれいさ
環境共生	問9-1㉓環境保全対策
自然災害	問9-1㉒消防・防災対策
地域とのつながり	問9-1㊹行政への住民参加体制、問13①町内に住む人達を信頼、②困った時に相談できる人がいる、③困っている人を助ける、④町内に愛着がある
多様性と寛容性	問9-1㉞女性の活躍のしやすさ、㉟若者の活躍のしやすさ、問13⑤見知らぬ他人を信頼できる、⑥どんな人の意見も受け入れる雰囲気がある
自己効力感	問12①自分のことを好ましく感じる
健康状態	問12②身体的に健康か、③精神的に健康か
文化・芸術	問9-1㉙文化施設の整備や文化活動の振興
教育機会の豊かさ	問12④学びたいことが学べる
雇用・所得	問12⑤やりたい仕事が見つかる、⑥適切な収入を得られる
事業創造	問9-1㊴町内での起業・創業のしやすさ

４．九度山町での生活に関する町民満足度（全国との比較）

図表　九度山町での生活に関する町民満足度（全国との比較）



（偏差値、全国平均値＝50）

…偏差値 60 以上　　…偏差値 40 以下

（出典）一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度（Well-Being）指標」
2024 年度版（令和 6 年度版）Well-Being 個別調査

図表　全国比較との結果（主観データ、偏差値が高い理由・低い理由）

	偏差値	偏差値が高い理由・低い理由　*全国比較
医療・福祉	41.7	「医療機関が充実」について町民評価が低い
買物・飲食	20.0	「買い物に不便がない」、「飲食を楽しめる」について町民評価が低い
住宅環境	58.9	「自宅に心地のいい居場所がある」について町民評価が高い
移動・交通	36.6	「バス・鉄道等の公共交通機関の充実」について町民評価が低い
遊び・娯楽	50.1	「楽しい時間を過ごせる施設の充実度」について町民評価は全国並み
子育て	56.4	「子育て支援」について町民評価が高い
初等・中等教育	38.4	「小中学校教育」について町民評価が低い
地域行政	56.3	「行政の住民への対応」について町民評価が高い
デジタル生活	45.6	「行政サービスのデジタル化」、「日常生活におけるデジタル化」について町民評価が低い
公共空間	20.0	「公園や子どもの遊び場の整備」について町民評価が低い
都市景観	59.1	「まちなみ・まちの景観」について町民評価が高い
事故・犯罪	46.2	「防犯対策」について町民評価が低い
自然景観	73.6	「自然景観」について町民評価が高い
自然の恵み	77.8	「自然の豊かさ、空気・みずのきれいさ」について町民評価が高い
環境共生	57.6	「環境保全対策」について町民評価が高い
自然災害	67.7	「消防・防災対策」について町民評価が高い
地域とのつながり	80.0	「同じ町内に住む人達を信頼」、「困った時に相談できる人がいる」、「人が困っていたら助ける」、「町内に愛着あり」とする町民が多い
多様性と寛容性	65.5	「見知らぬ他者（移住者等）を信頼できる」とする町民が多い
自己効力感	80.0	「自分のことを好ましく感じる」とする町民が多い
健康状態	80.0	「身体的に健康」「精神的に健康」とする町民が多い
文化・芸術	68.5	「文化施設の整備や文化活動の振興」について町民評価が高い
教育機会の豊かさ	27.0	「学びたいことを学べる」とする町民が少ない
雇用・所得	20.0	「やりたい仕事が見つかる」、「適切な収入を得るための仕事はある」とする町民が少ない
事業創造	53.0	「町内での起業・創業のしやすさ」について町民評価が高い

…偏差値 60 以上　　…偏差値 40 以下

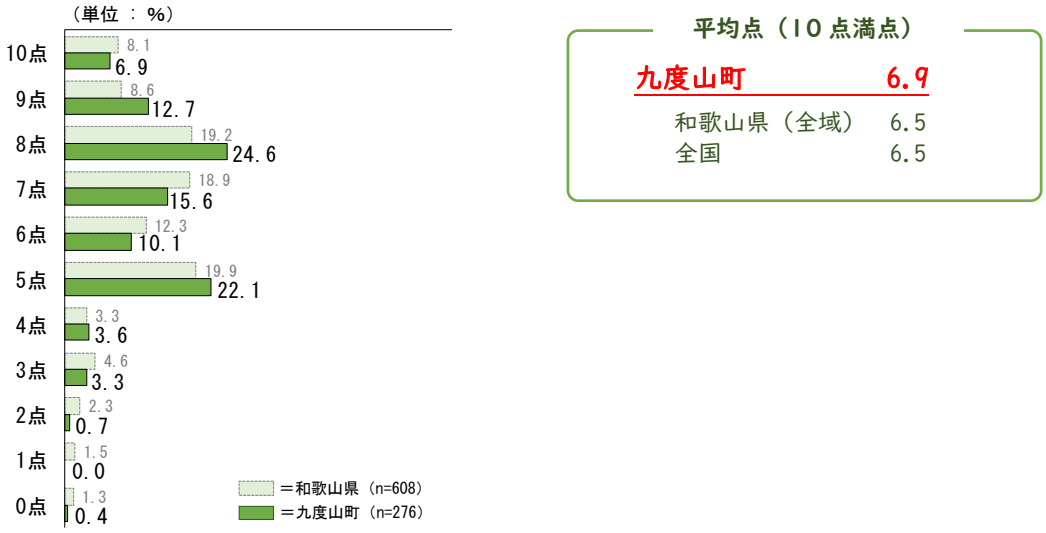
５．九度山町民の幸福度

地域幸福度（Well-Being）指標とは

「地域幸福度（Well-Being）指標」とは、町民の「幸福度」を指数で数値化したもの。政府の「デジタル田園都市国家構想」では、地域で暮らす人々の心豊かな暮らしの向上と持続可能性の確保を目標としており、その取り組み状況を図る指標として、「地域幸福度指標」が活用されている。

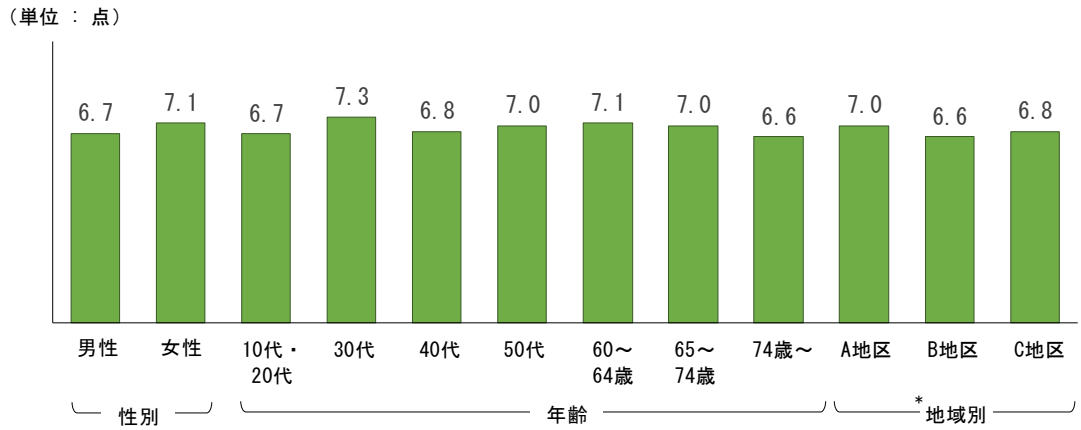
今回のアンケートでは、「問 10 現在、あなたはどの程度幸せですか（11 段階評価）」を使って可視化。

図表　幸福度（11 段階評価）と平均値



（出典）一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度（Well-Being）指標」
2024 年度版（令和 6 年度版）Well-Being 個別調査

図表　幸福度の平均値（基本属性別）



(*)「地域別」… A 地区（九度山、入郷、慈尊院）、B 地区（椎出、下古沢、中古沢、上古沢、笠木）、C 地区（河根、丹生川・市平、北又、東郷）

【地域幸福度（年齢別）】

	年齢別							相関係数
	10代 20代	30代	40代	50代	60～64歳	65～74歳	75歳～	
有効回答数（人）	15	24	25	51	27	56	91	-
幸福度	6.7	7.3	6.8	7.0	7.1	7.0	6.6	–
生活満足度	6.4	6.8	5.9	6.2	6.4	6.5	6.7	★ 0.76
医療・福祉	45.3	50.3	29.7	30.1	20.0	38.4	60.5	★ 0.33
買物・飲食	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.25
住宅環境	73.7	65.2	21.7	49.8	54.5	69.9	67.6	★ 0.42
移動・交通	39.6	42.0	27.3	34.0	34.9	35.9	41.0	0.23
遊び・娯楽	46.9	54.5	36.2	45.9	40.0	51.2	61.4	0.22
子育て	57.9	67.5	53.5	49.6	58.9	51.6	61.7	0.27
初等・中等教育	68.3	68.7	27.9	33.6	32.2	32.0	36.4	0.20
地域行政	71.9	58.9	46.3	55.0	36.8	51.7	68.7	0.26
デジタル生活	73.5	65.2	42.0	46.5	40.4	37.7	41.7	0.18
公共空間	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.3	0.21
都市景観	70.5	75.2	52.9	62.4	52.9	50.2	61.2	0.24
事故・犯罪	62.0	52.4	40.0	35.5	39.2	41.4	57.9	0.17
自然景観	80.0	80.0	75.4	75.4	64.3	71.9	71.5	★ 0.35
自然の恵み	75.8	80.0	80.0	76.0	74.2	76.6	79.2	★ 0.34
環境共生	75.3	69.8	35.3	48.7	38.7	54.4	78.1	0.16
自然災害	80.0	73.2	37.2	60.5	48.8	66.7	80.0	0.20
地域とのつながり	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	★ 0.41
多様性と寛容性	74.6	80.0	51.0	60.5	54.3	64.5	71.0	0.24
自己効力感	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	★ 0.45
健康状態	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	63.4	★ 0.39
文化・芸術	80.0	80.0	53.7	69.4	57.6	56.8	79.5	0.16
教育機会の豊かさ	36.4	59.4	20.0	23.5	20.0	33.9	27.0	0.24
雇用・所得	33.0	26.8	20.0	20.0	20.0	24.8	20.0	0.26
事業創造	57.2	54.7	46.6	54.8	37.8	52.3	59.3	0.20

…偏差値 60 以上　　…偏差値 40 以下

(*)「相関係数」… 各項目と幸福度との関連性の強さを示す。-1 から 1 の間で示されており、0.4～0.7 で「相関が強い（関連性が強い）」、07 以上で「相関が非常に強い（関連性が非常に強い）」とされる。表内の★は相関係数が 0.3 以上であることを示す。

６．九度山町の強みと今後の課題

当町民アンケート調査の結果について、前回調査との比較ならびに全国調査との比較から窺える「九度山町の強みと今後の課題」は以下のように整理できる。

強み

- 住民の自己効力感の高さ
- 良好な健康状態（身体・精神）
- 地域とのつながり（信頼・互助・愛着）
- 自然景観と自然の恵み
- 高齢福祉サービス・施設の評価改善
- 住居の確保のしやすさが改善

今後の課題

- 医療・福祉
- 買物・飲食
- 移動・交通
- 防犯対策
- 公共空間（公園・子どもの遊び場）
- 雇用・所得環境

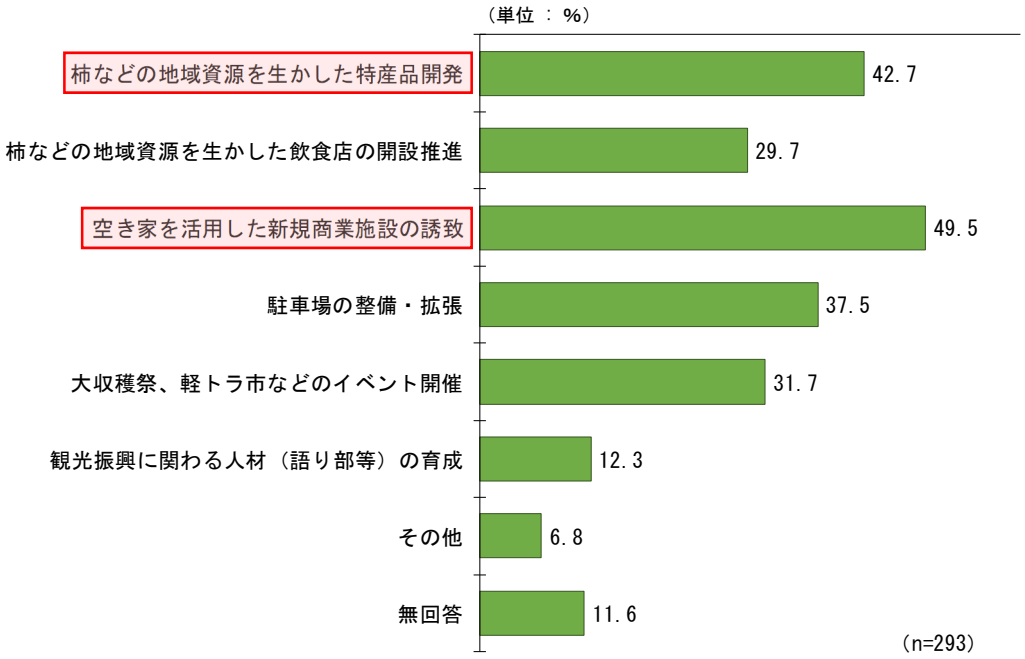
（参考）施策課題に関する町民意見［抜粋］

項目	主な意見
病院・医療施設	・高齢化が進んでいる中で、高齢者に優しいまちづくりに取り組んでほしい。緊急時の医療体制の構築などを希望（男性・65～74 歳） ・病院まで歩いていけない。子どもの発熱時に病院に問い合わせると、車で待機して欲しいと言われたが、車を保有しておらず、診療を断られた（女性・40 代）
買い物・飲食	**商業施設の開設・誘致** ・町内にスーパーが欲しい（男性・75 歳以上） ・スーパーやコンビニが近くに欲しい（コインランドリーも）（女性・30 代） **商店までの移動支援** ・家族全員が運転できなくなった時に、買い物や外出をどうすればよいか不安。シルバータクシーチケットは大変良い（女性・60～64 歳） ・一人暮らしの高齢者、持病を抱える人、車に乗らない人にとって、買い物は大変不便
道路整備	**狭い道幅の改善** ・道幅の狭い道が多い。火事などが起これば大惨事になる（男性・75 歳以上） **主要道路・交差点の改善** ・県道 13 号、丹生橋右岸の交差点の改良（男性・75 歳以上） ・国道 370 号線工事が断続的かつ長期にわたって続いている。工事計画等をもっと住民目線、観光客目線で考えて欲しい（男性・60～64 歳） **観光振興に向けた道路・駐車場整備**

項目	主な意見
公共交通の充実	**高齢者の移動支援・生活の利便性向上** ・高齢者に優しいまちづくりを。車に代わる交通手段の整備を(男性・65～74 歳) ・通院、買い物時の移動支援を充実させてほしい(男性・75 歳以上) ・シルバータクシーチケットの対象年齢拡大と対象者条件の緩和を（女性・20 代） **都市圏へのアクセス向上・公共交通機関の改善** ・大阪市内への直通電車は通勤者には必要不可欠(男性・75 歳以上)
防犯対策	**防犯カメラの設置** ・町に防犯カメラを増やして欲しい。子どもに優しいまちづくりをしてほしい(女性・50 代) ・子ども達が登下校する道路に一つも防犯カメラが設置されていない。子どもを守る気がないように感じてしまう（女性・50 代） **犯罪の懸念と地域安全** ・地方における強盗や強盗殺人などの事件増加が懸念（女性・50 代）
子どもの遊び場	**少ない子どもの遊び場** ・子どもが比較的多い地域でも、遊べる場所が少ない。昔のように道路付近で遊んでいるとクレームになってしまう(男性・30 代) ・さくら団地に小さな子ども向けの広場やボール遊びができる場所を希望（女性・30 代） ・子どもを見守り育てる場所が必要で、高齢者も交流できる場があれば良い （女性・50 代） ・安全に楽しめる公園、雨天でも遊べる場所が欲しい（女性・50 代） ・広い自然公園を作ってほしい（男性・50 代） ・ゆっくり散歩できる公園を作って欲しい（男性・65～74 歳）
雇用創出（企業誘致）	**企業・工場誘致による雇用創出の必要性** ・「若者の住みよいまちづくり」など、甘い言葉の羅列に過ぎない。人は「やりがいのある仕事」がないと、都市に出てしまう。そのような雇用創出のために企業誘致が必要（男性・75 歳以上） ・空き農地に工場等を誘致し、働ける場所を確保(男性・75 歳以上) **幅広い職種の雇用確保** ・老若男女問わず働ける場所を作る（様々な職種に関する求人増を）（男性・20 代）

7．観光振興において町民が期待すること

図表 観光振興において期待すること

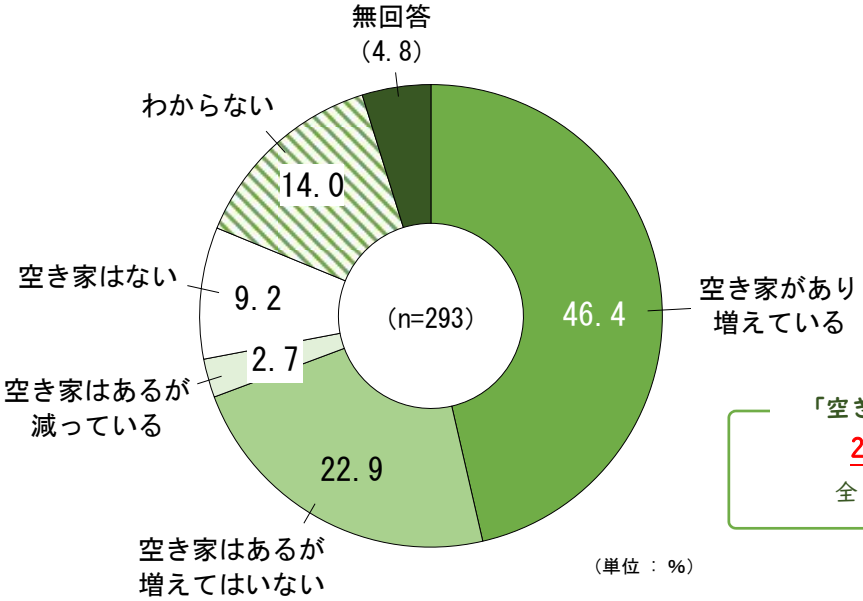


（参考）施策課題に関する町民意見［抜粋］

項目	主な意見
観光振興	**観光資源と施設の整備** ・慈尊院、丹生官省符神社に入るまでの石畳の道路沿いに土産物店、飲食店を開設 ・観光に力を入れるのであれば、町石道の整備に力を入れるべき（男性・65～74 歳） ・小学校の遠足などで商店街を歩いて、ゴール地点は慈尊院になるような旅程提案ができれば、町も活気づく（男性・50 代） ・釣り堀開設（男性・20 代） ・飲食店が一軒一軒離れていて不便。道の駅の近くに食べ物、アクセサリー、スイーツ等の店が集まっていると観光客も利用しやすい（男性・65～74 歳） ・イベント時に町外から来てもらうための駐車場整備（男性・40 代） ・英語、中国語などの表記をもっと増やすべき（男性・65～74 歳） **自然や景観を活かした観光振興** ・龍王峡などの景観がとても綺麗。車で通り過ぎるだけでは気づいてもらえない。周辺を歩いてもらえるような工夫をしてほしい（女性・40 代） ・グランピングやソロキャンプができる場所を確保してはどうか（女性・40 代） **その他（イベント開催、特産品、PR）** ・「くどやま芸術祭」はお気に入りのイベントだ。また開催して欲しい。友達も招待できる。楽しみにしている（女性・40 代）

８．町内の空き家問題について

図表 自宅周辺の空き家の有無



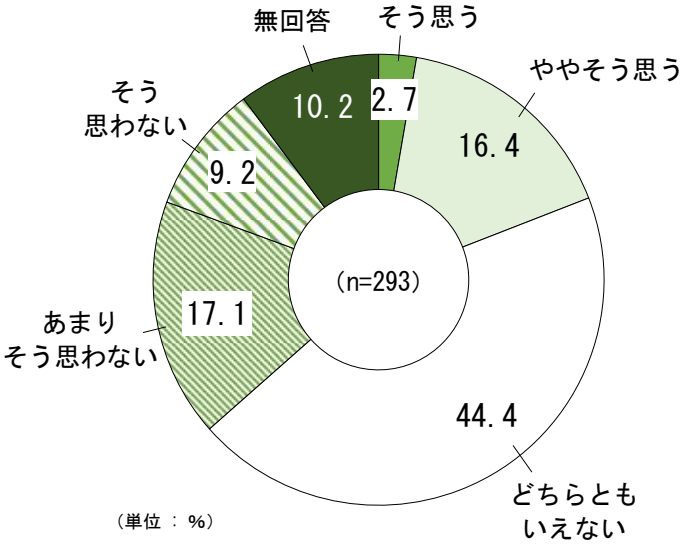
「空き家対策」の町民満足度
2.50 点（5 点満点）
全 47 項目中 44 番目の低さ

（参考）施策課題に関する町民意見［抜粋］

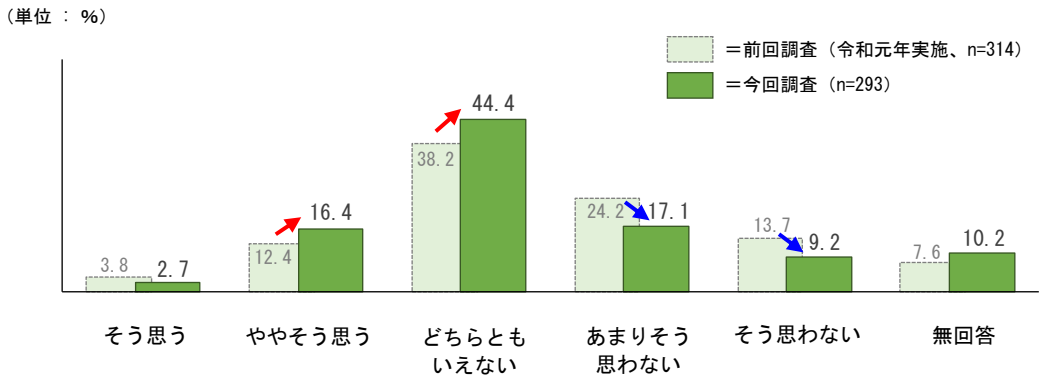
項目	主な意見
空き家対策	**空き家活用と定住促進** ・空き家は多いが活用できていない（女性・40 代） ・空き家をリノベーションしてはどうか(女性・65～74 歳) ・空き家を改修し、おしゃれなお店を複数開設しては(女性・40 代) ・空き家をリフォームして、文化・芸術家に貸し出してはどうか。定住は望めない(暮らしは不便)が（女性・50 代） ・空き家を町が借り受け、活用してはどうか（男性・50 代） ・空き家の再利用については、公共施設や企業への提供、一般団体への提供(賃借)などを検討してはどうか(女性・50 代) **周辺の空き家に関する困りごと** ・近くの空き家は、玄関ガラス戸が一部割れている。周囲には野良猫が多く、家屋が傷んでいるのではと思うと衛生的に心配(女性・40 代) ・手入れが行き届いていない空き地の草が伸び放題で、景観が悪く、害虫も発生する。改善して欲しい(女性・60～64 歳) ・空き家が散見される。建物老朽化による隣家への影響・被害が心配。更地や憩いの場への転用を希望(男性・50 代) ・空き家周辺では、落ち葉が散乱し、道路環境が良くない。年に一度の一斉掃除、持ち主への連絡（掃除依頼）など対応が必要(女性・65～74 歳)

９．防災対策

図表 災害に強いまちづくりは進んでいるか



【前回調査との比較】



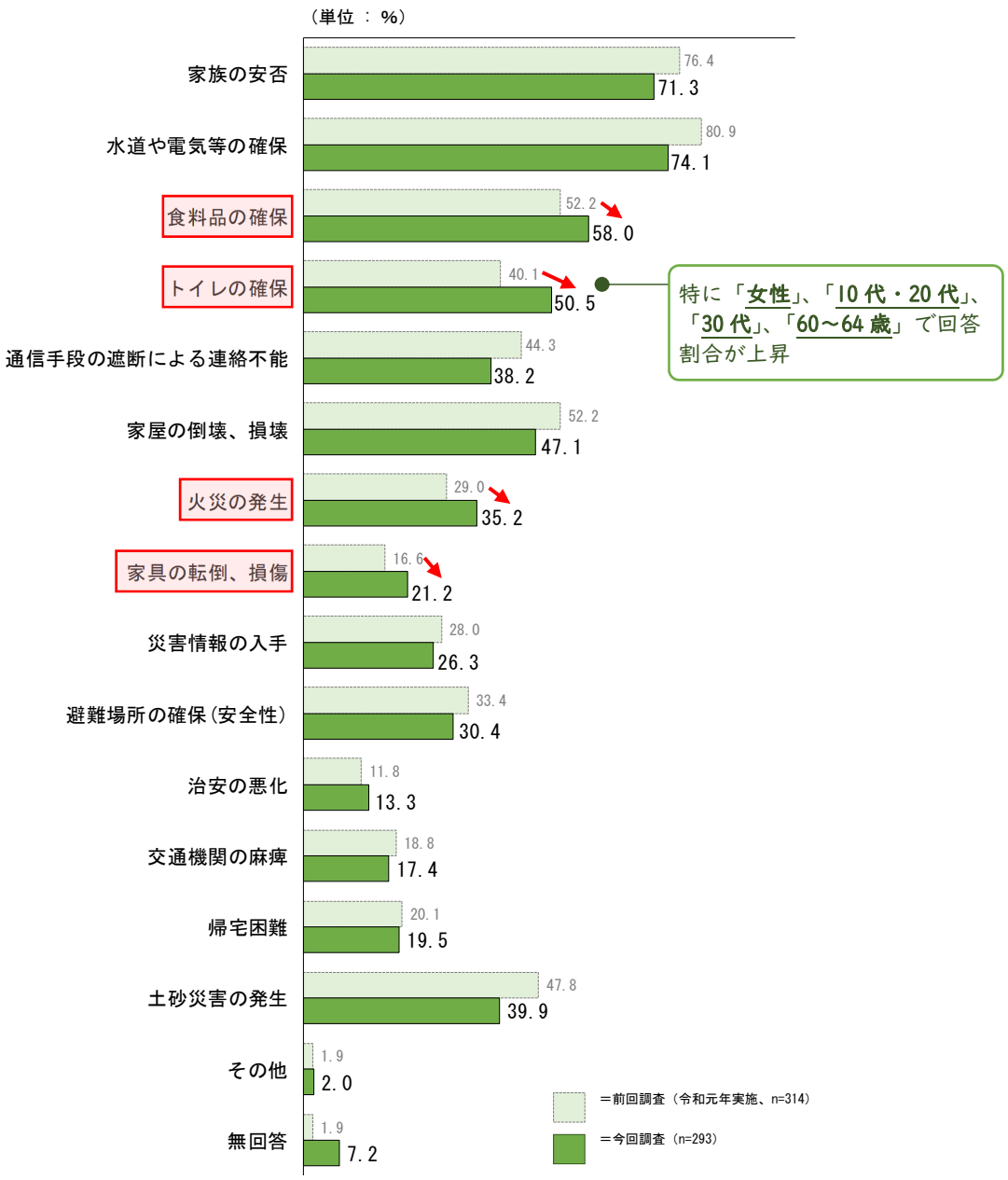
図表 九度山町による災害に強いまちづくりについて（自由意見）

質問 28 での回答	質問 28 の回答理由
そう思う	・消防施設が新しくなった（男性・50 代） ・防災行政無線が設置された(女性・75 歳以上) ・町はよくやってくれていると思う(女性・75 歳以上)

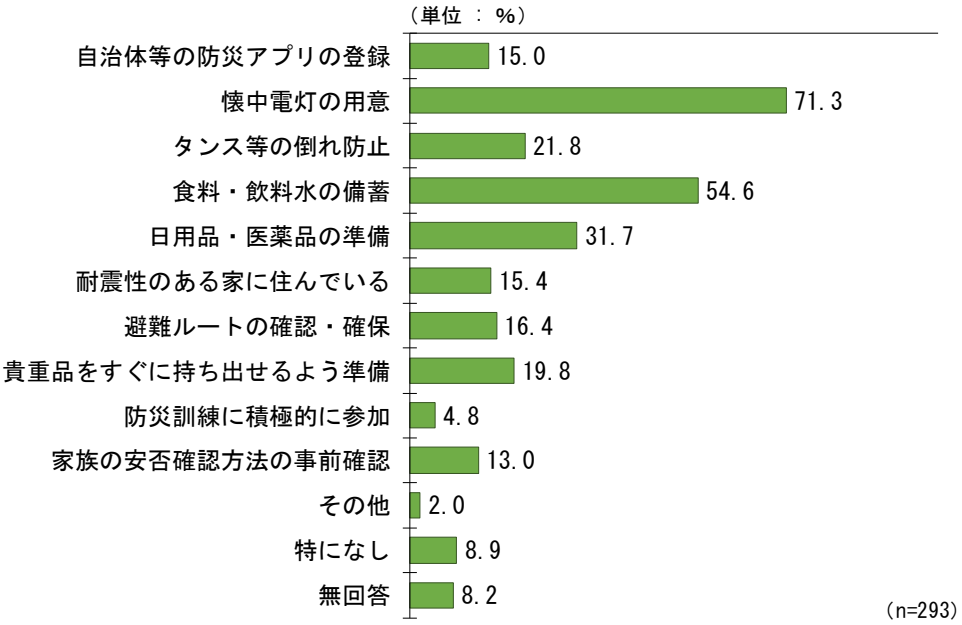
質問 28 での回答	質問 28 の回答理由
ややそう思う	**防災行政無線・備蓄倉庫等の整備** ・集会所の建て替えが行われた(男性・50 代) ・防災無線・備蓄倉庫の整備、備蓄品の循環などが思った以上にしっかり取り組まれていると感じる（女性・50 代） **水害対策・河川整備・道路整備等の進捗** ・川の越流対策としての道路整備が進んだ(男性・40 代) ・堤防の強化(男性・65～74 歳) ・池の補修や道路工事が進んでいる(女性・75 歳以上) **災害時対応実績と地域連携の動き** ・消防団と消防組合等と災害時の連絡がしっかりできている(男性・50 代) ・消防団の活躍(男性・50 代) ・防災協定を各団体と締結している(女性・20 代)
あまりそう思わない	**防災対策に関する情報発信の不足** ・役場が何に重点的に取り組んでいるか分からず、進捗状況も知らない(男性・65～74 歳) ・防災対策に関する情報が不足している(女性・40 代) **道路の整備と安全性に課題あり** ・道路に傷みのある箇所が数多くある(男性・40 代) ・道路にひび割れ箇所が多い(女性・65～74 歳) **線状降水帯発生に伴う大雨への懸念** ・線状降水帯の発生で、雨が短時間の間に大量に降ると、川の水が急激に増水し、氾濫することがある（女性・60～64 歳） **土砂災害への懸念** ・山間部が多く土砂災害の予防措置が不十分(男性・65～74 歳) ・土砂崩れや危険な場所が多すぎる(女性・60～64 歳) **避難所と避難道路に課題あり** ・高齢者でも安心して避難できる避難誘導の仕組みがあれば有難い(男性・75 歳以上) ・避難所となっている体育館等が、災害時に本当に安心して避難できる場所に位置しているのかと不安を感じる（女性・40 代） **インフラと建物等の老朽化** ・インフラの老朽化が懸念される(性別不詳・40 代) **防災対策への不満** ・行政主導での広域的な災害対応訓練がない。前回の大雨災害に対する対応に疑問を感じた(女性・50 代) ・避難訓練を一度も実施していないのではないか。学校では行っているのか(男性・75 歳以上) ・近くの道の復旧工事が進んでいない。雨が降るたび不安でたまらない(女性・75 歳以上) ・以前から何も変わっていない。昔のままだ(性別不詳・75 歳以上)

９．防災対策

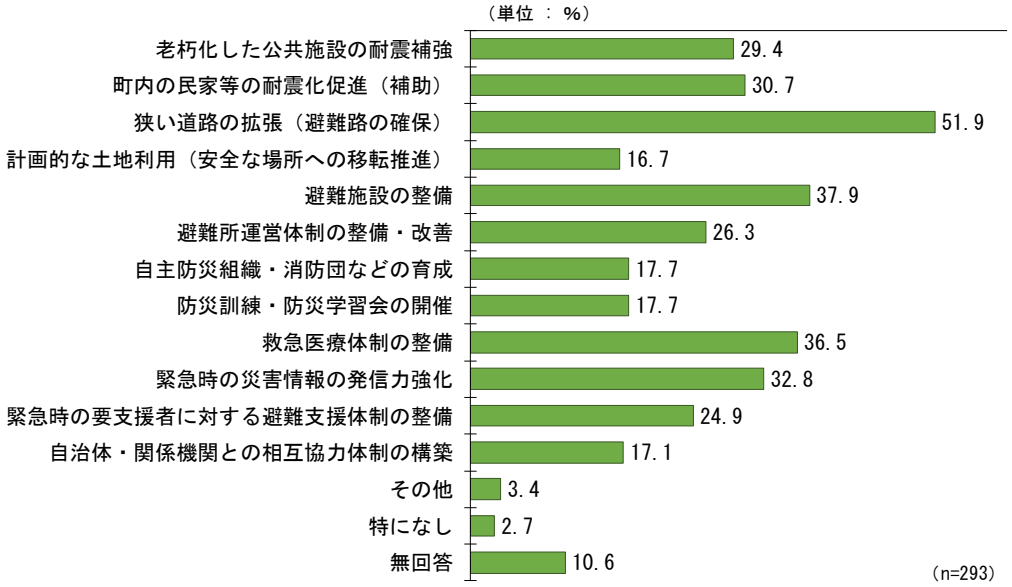
図表 災害発生時に特に心配すること



図表 日常の防災対策

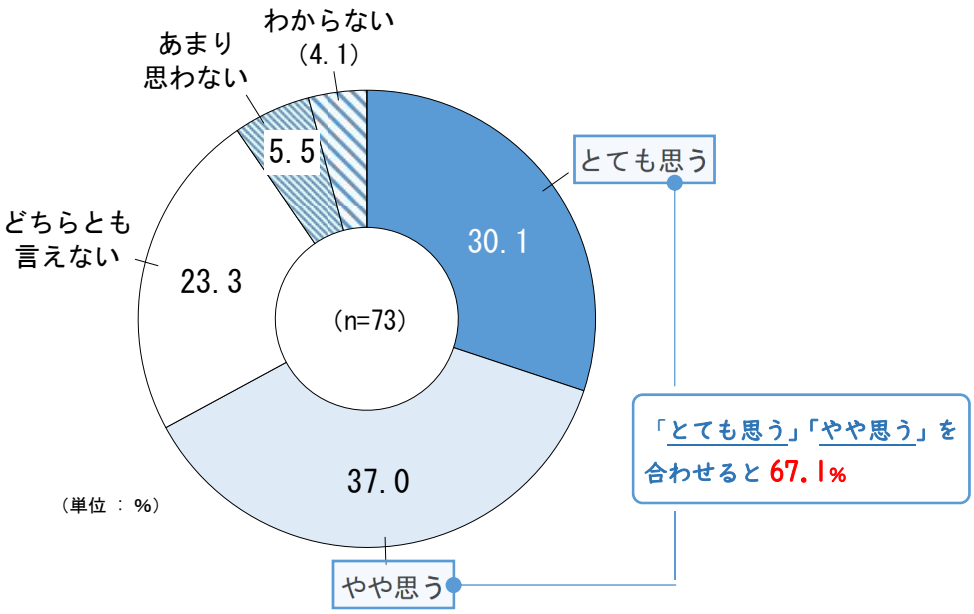


図表 災害に強いまちづくりとして重要な取り組み

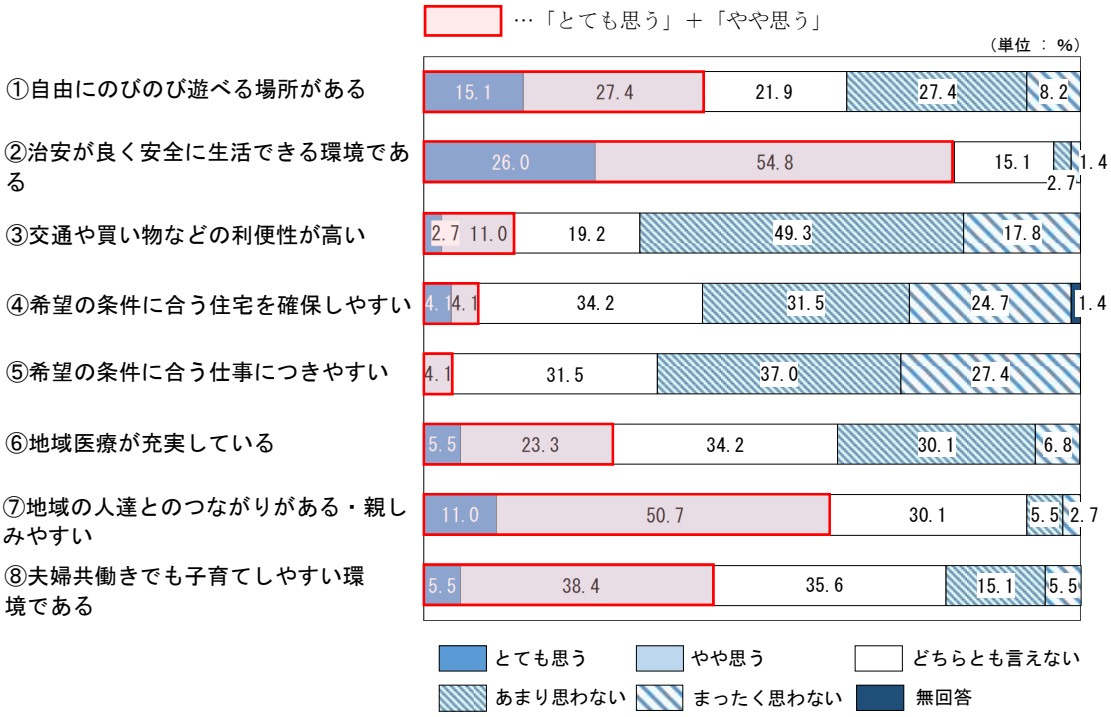


10. 九度山町は子育てしやすいまちか？

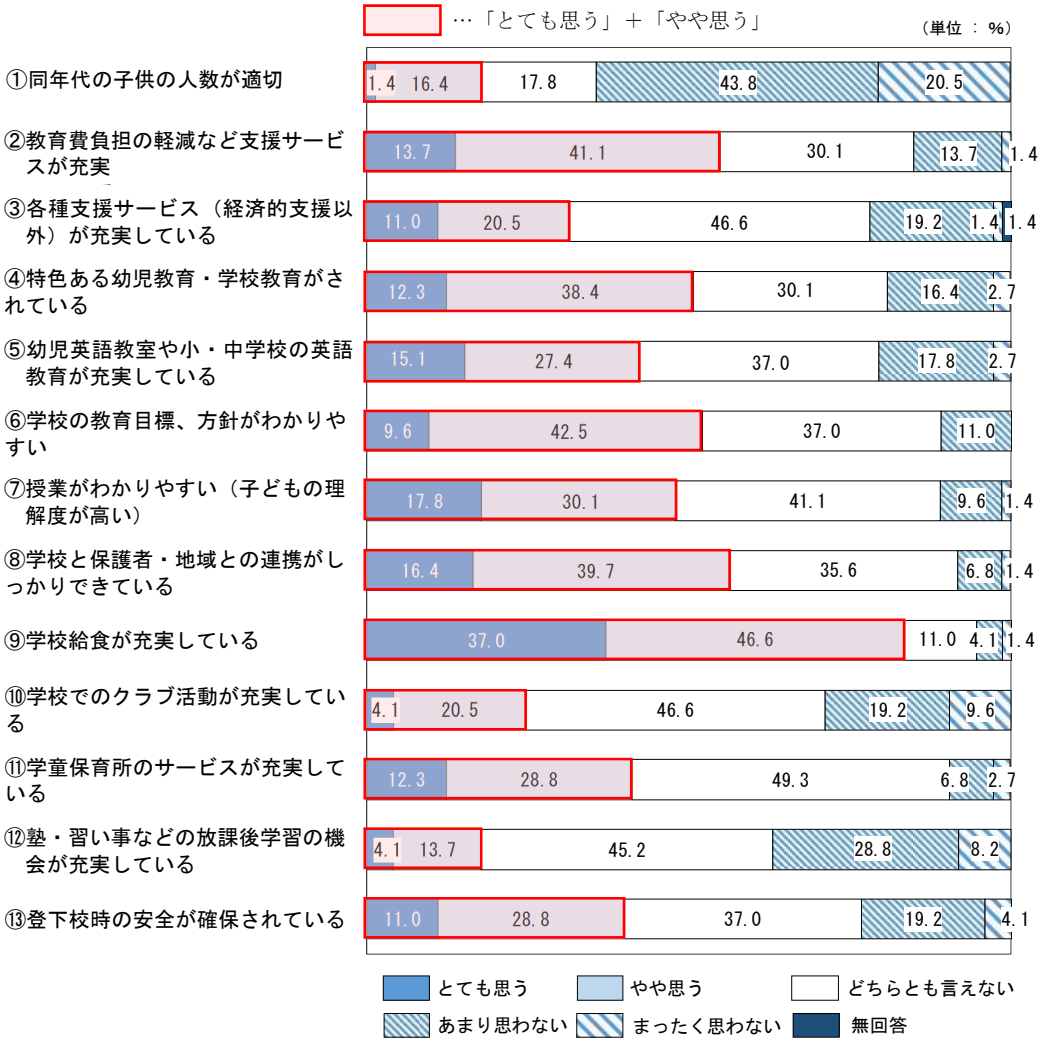
図表 九度山町は子育てしやすいまちか



図表 九度山町の子育て環境



図表　九度山町の教育環境



子育てに関するアンケート調査の結果から窺える「九度山町の強みと今後の課題」は以下の通り。

強み

- 治安の良さ・安全性
- 地域とのつながり・親しみやすさ
- 学校と保護者・地域との連携
- 教育費負担の軽減策
- 学校の教育目標・方針のわかりやすさ
- 特色ある幼児教育・学校教育
- 学校給食の充実

今後の課題

- 同級生が少ない
- クラブ活動が充実していない
- 放課後学習（習い事）の機会に乏しい
- 英語教育のさらなる充実
- のびのび遊べる場所が少ない
- 買物・交通
- 地域医療
- 住宅の確保
- 仕事の探し

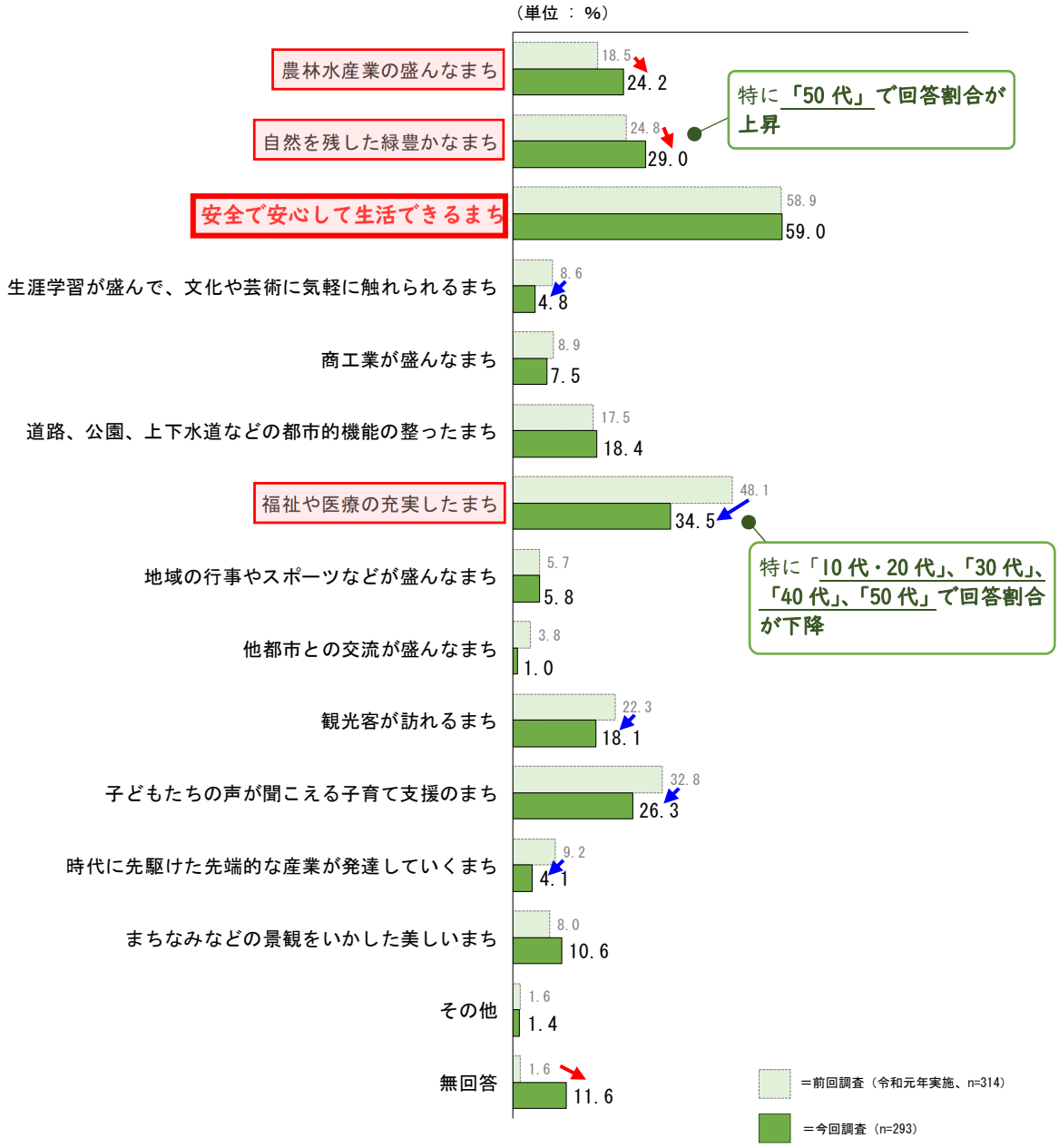
10. 九度山町は子育てしやすいまちか？

図表　九度山町の子育て・教育環境に関するご意見・ご提言（自由意見 *原文を要約）

項目	主な意見
交流活動	**南北交流・スキー交流について** ・子ども農山漁村南北交流、スキー交流に町の支援で参加できた子どもは、きっと生涯の思い出を得られただろう。親としてとても感謝している ・子ども農山漁村南北交流、スキー交流はとても良い。親元から離れて学ぶことも多いだろうし、県外の小学生との交流は得難い機会だ
子どもの数を増やすための施策	・子どもの数が増える施策を考えて欲しい。若い夫婦に「九度山町に住みたい」、「子育てしたい」と思わせない限り増えないと思う（家を建てたいと思う土地・場所の整備等の実施） ・「九度山町に住みたい」、「九度山町でなら学力もアップする」と思ってもらえるような取り組みがあれば、もう少し児童数も増えるのではと思う ・九度山町が子育てしやすい環境であることをもっと町外の人に知ってもらう必要がある
体験学習・クラブ活動	**スポーツ・身体活動について** ・公民館での英語教室のように、体操教室があればと思う。マット運動、縄跳び、ボール遊びなど ・児童数が少ないため、体験できるスポーツの種類が少ない **芸術・文化活動について** ・文化的活動も増やして欲しい。吹奏楽、工作、絵画、子ども料理教室など ・中学校に進学した時に入部できる部活動が少ないことに、子ども達は不満を覚えるかもしれない。文化部を増やして欲しい ・芸術的な取り組み、体験の機会を増やして欲しい
教育環境・教育内容	**英語教育について** ・英語教育を充実させて欲しい。中学校でつまずいているように思う ・ネイティブの英語の発音に触れる機会、海外の人と接する機会を増やし、様々な価値観・考え方・文化を知ることが大切 ・土曜日の小学生の公民館英語教室について、水曜日の放課後に開催してもらえると、学校終わりに習えるので助かる **その他の教育環境・教育内容について** ・国語や算数の授業の時など、サポートの先生が入って欲しい ・プログラミング学習、インターネットリテラシー教育の強化 ・図書館を充実させて欲しい（子どもには様々な本を読んで欲しい）
通学路の安全性向上	・道路、橋等子どもたちが安全に通れるようにして欲しい ・登下校時の安全性を高めて欲しい。防犯カメラも少ないと聞いている。橋本市では下校時も見守り隊がいるようだ。一人で下校させる時は不安 ・子どもが夜に帰ってくる時、街灯が少なくて暗く感じる。夜でも、安全に歩いて帰って来られるようにして欲しい

11. 町民が望む「九度山町の将来像」

図表 九度山町の将来像



町民の声（50 代・女性）

町の将来像について、私は子どもが大人になった時、楽しかったなあと良い思い出が残る町であって欲しいと思います。日々のささやかなことで良いのです。空がきれいだったこと、新緑がキラキラしていたこと、野焼きの匂いから季節を感じられたこと、そして、富有柿のあの甘さ。ずっと住み続けられなくても、様々な事情があって一旦町を離れたとしても、この場所に住んでいてよかったと思える場所であって欲しいです。すごいことでなくていいのです。生きるということ、歳を重ねるということ、そんな当たり前の日常に寄り添える優しい街であって欲しいと願います。

町民アンケート調査・子育てに関するアンケート調査
結果報告書

【概要版】

令和７年２月

九度山町　企画公室
〒648-0198　和歌山県伊都郡九度山町九度山 1190
TEL：0736-54-2019　FAX：0736-54-2022